

高品質で栽培しやすい 「俵型」大納言小豆新品種の育成

「俵型」大納言小豆は、京都府内の和菓子業界等から高級小豆としてその品質に高い評価を得ています。しかし在来品種（馬路大納言・瑞穂大納言など）にはウイルス病への抵抗がありません。そこで、インゲンマメモザイクウイルス（BCMV）抵抗性をもち栽培しやすく高品質な「俵型」大納言小豆新品種の育成に取り組んでいます。

俵型遺伝資源系統（左）と烏帽子型のBCMV抵抗性系統（右）を交配



俵型



BCMV抵抗性

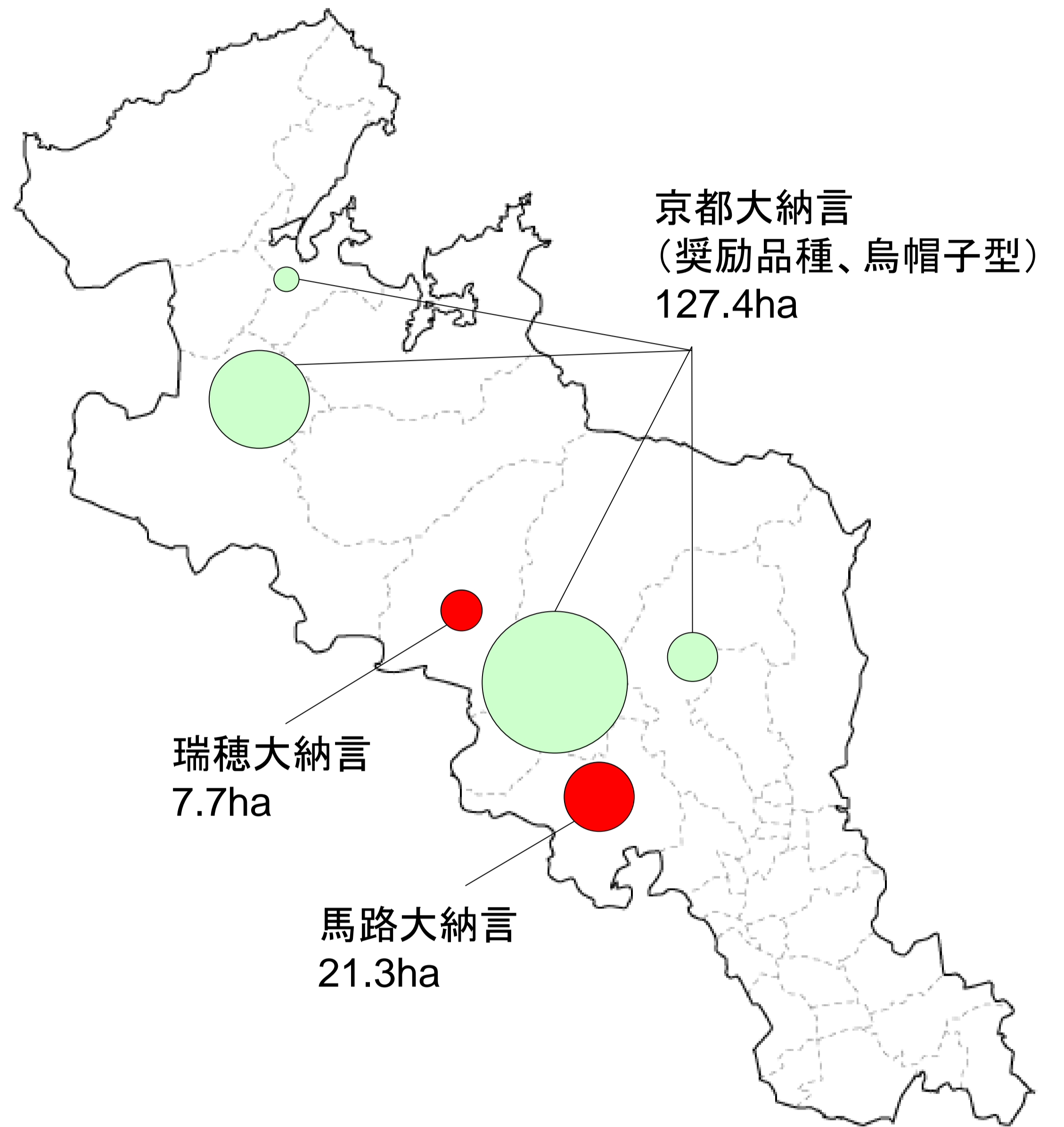
×

世代促進・戻し交配



F₁₀世代

「俵型」品種候補を選抜



京都大納言および在来大納言小豆の生産地と作付面積（H26）



圃場での交配後代の栽培の様子

交配後代の草姿や百粒重など、生育・収量特性を調査し、今後さらに品種候補の選抜を進める予定です。

高品質な大納言小豆を育成することにより、高級大納言小豆の生産量の拡大、農家の所得向上、地域の6次産業化、和菓子業界の活性化につながります。